

平成26年度自治体アンテナショップ実態調査報告
年間売上1億円以上 28店 調査開始以来 最高
調査時点で52店 その後、銀座中心に6店（5県2市）が出店
～東京以外のアンテナショップの状況も初調査～

全国のまちづくり活動の支援事業を行っている 一般財団法人 地域活性化センターでは、平成21年度以降、都道府県を通じて東京都内の「自治体アンテナショップ実態調査」を行っています。このほど平成26年度の調査結果がまとまりましたので報告いたします。今年度の特徴は下記の通りです。

- 全店舗数は52店で、平成25年度調査度（54店）より2店減少しました。閉店、移転等するショップが8店、新たに報告があったショップが6店ありました。
- 本調査日（平成26年4月1日）以降、6店（5県、2市）の出店がありました。
- 都道府県のショップ数が過去最高の39ショップになりました。
- 年間売上が1億円を超える店舗は28店となり、当センターが平成21年度から調査して以来最高の件数となりました。
- 銀座・有楽町、日本橋への出店が続いており、ますます集積効果が進んでいます。
- 飲食施設があるショップが約50%あり、本格レストランから気軽に地方の味が楽しむことができるイートインまで多様化しています。
- 今年度は経年実態調査以外に「インターネットの活用」、「外国人訪問者への接遇」「クレジットカードの利用」の3項目についても調査をいたしました。ネット活用は進んでいますが、外国人訪問者への接遇はまだ未整備です。
- 今回は、東京以外にあるアンテナショップと海外の動向も調査しました。
東京以外の地域では増加傾向にあり、今回の調査では46店の届けがあり、大阪府内9店、福岡県内7店ありました。また、平成25年度は、11店が設立しました。

【アンテナショップとは？】

自治体アンテナショップとは、単なる観光物産案内所ではなく、地域の総合情報を受発信するとともに、特産品販売施設や飲食施設等を設置している店舗です。

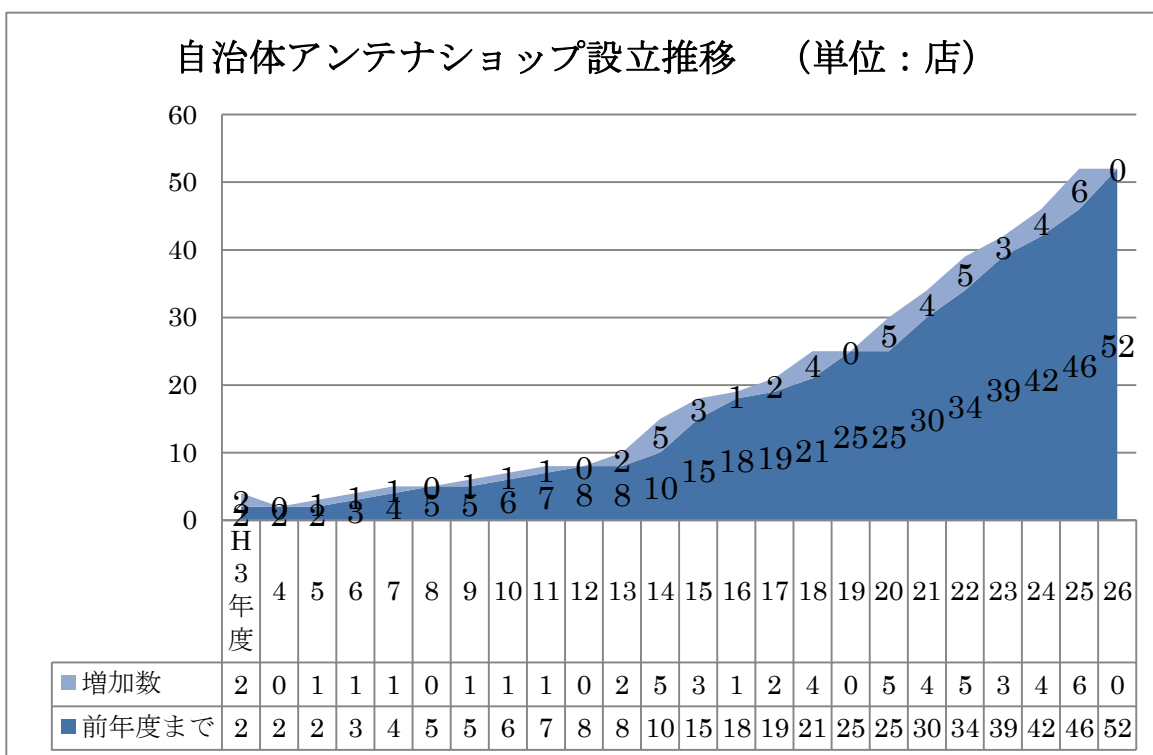
【調査方法】 調査は、都道府県を通じて以下の内容で行いました。

- ① 自治体が主体となって設立した施設。（運営は民間企業等でも可）
- ② 常設施設であること。短期間（1年以内）で終了する営業は含まない。
- ③ 観光案内所・事務所機能のみの施設は含まない。
- ④ 東京都内にあるアンテナショップ。
- ⑤ 道の駅、直売所は含まない。
- ⑥ 平成26年4月1日の状況
- ⑦ 調査内容は、所在地、設立年、設立目的など21項目。

【5.2 ショップの調査結果報告】

1. 自治体アンテナショップ設立数の推移（図1参照）

図1 自治体アンテナショップ設立推移（単位：店、年度別）



① 昨年度調査より2点減少したが、調査後に6店の出店及び移転があった

平成26年度 52店（都道府県39店、市町村13店）

平成25年度 54店（都道府県38店、市町村16店）

前回調査（平成25年10月）以降の出店閉鎖等の動き（図2、3、4参照）

図 2

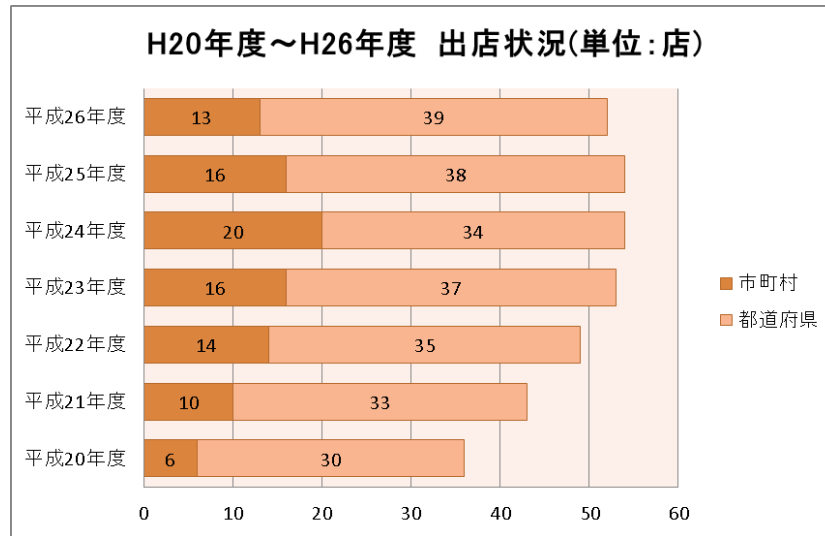


図 3 新設等で調査対象となったショップ 6店 (3都県、2市町村、1広域)

団体名	ショップ名	所在地	出店年
福島県会津若松地方広域市町村圏整備組合	会津ふるさと居酒屋よつてがんしょ	中央区銀座	H24年
福島県湯川村・会津坂下町	湯川村・会津坂下町アンテナショップ	葛飾区東金町	H26年
東京都	TOKYO地域特産品売店	新宿区西新宿	H3年
長野県塩尻市	塩尻醸造所(仮)	渋谷区富ヶ谷	H24年
長崎県	長崎よかもんショップ・四谷	新宿区四谷	H26年
静岡県	静岡県産品アンテナコーナー「おいしず」	千代田区神田	H25年

図 4 前回の調査以降、閉店、移転等したショップ 8店 (2県、6市)

団体名	ショップ名	所在地	出店年(平成)
山形県鶴岡市	鶴岡江戸屋敷	江戸川区西葛西	H2年
福島県	ふくしま市場	江戸川区東葛西	H18年
茨城県行方市	なめがたシティギャラリー	墨田区業平	H24年
東京都府中市	府中市郷土の森観光物産館	府中市是政	H23年
新潟県佐渡市	丸の内佐渡特選館	千代田区丸の内	H22年
長野県塩尻市	ダルーヴァ	渋谷区富ヶ谷	H24年
山口県萩市・宇部市	萩と宇部のおいしい魚屋ブッチーネ	中央区築地	H24年
高知県	高知屋	武蔵野市吉祥寺	H12年

② 銀座、日本橋、新橋に出店続く

都道府県のショップが過去最高の39店(図2)。調査日(H26年4月1日)以降も、日本橋に福島県、銀座に長野県、石川県、新橋に鳥取県と岡山県の共同ショップなど図5のと

おりの出店がありました。

ここ2～3年、銀座1丁目界隈に出店が相次ぎ、8県1市（山形県、茨城県、石川県、石川県金沢市、福井県、広島県、高知県、大分県、沖縄県）が出店しています。有楽町駅前にある東京交通会館（官民合わせて約10店が出店）周辺から、銀座全体、日本橋、新橋にも広がりを見せています。同エリアには民間企業が運営する特産品ショップや地方の飲食施設なども集積しはじめており、顧客が回遊することで相乗効果を上げています。

図5 調査後（H26年4月1日以降）の出店状況 6店（5県、2市）

団体名	ショップ名	所在地	出店年月
北海道旭川市	旭川食ベマルシェ	新宿区新宿	H26年9月
福島県	日本橋ふくしま館「MIDETTE」	中央区日本橋	H26年4月
石川県	いしかわ百万石物語・江戸本店	中央区銀座	H26年10月
石川県金沢市	銀座の金沢	中央区銀座	H26年10月
長野県	銀座NAGANO ～しあわせ信州シェアスペース～	中央区銀座	H26年10月
鳥取県・岡山県	とっとり・おかやま新橋館	港区新橋	H26年9月

2. 店舗面積の拡大傾向

100㎡未満の市町村のショップが21店（40.4%）と最も多く、500㎡以上は、表参道新潟館ネスパス（新潟県）、ふくい南青山291（福井県）、広島ブランドショップTAU（広島県）、かごしま遊楽館（鹿児島県）、銀座わしたショップ（沖縄県）です。（図6参照）。

図6 店舗面積（単位：店） N=52

面積	店数	割合
100㎡未満	21	40.4%
100㎡以上200㎡未満	10	19.2%
200㎡以上300㎡未満	4	7.7%
300㎡以上400㎡未満	8	15.4%
400㎡以上500㎡未満	4	7.7%
500㎡以上	5	9.6%
合計	52	100.0%

3. 年間入館者数

年間入館者数は、平成25年度実績を調査しました。100万人以上の入館者があったのは、北海道どさんこプラザ（北海道）、とちまるショップ（栃木県）、表参道新潟館ネスパス（新潟県）、銀座わしたショップ（沖縄県）になります。（図7参照）

図7 H25年度入館者数 (単位:店) N=52

年間入館者数	店数	割合
10万人未満	19	36.5%
10万人以上20万人未満	8	15.4%
20万人以上50万人未満	10	19.2%
50万人以上70万人未満	7	13.5%
70万人以上100万人未満	0	0.0%
100万人以上	4	7.7%
不明	4	7.7%
合計	52	

4. 年間売上

年間売上は、平成25年度実績を調査しました。

① 1億円を超える店舗が28店 (全体の53.8%) 図8参照

H25年度の売上は、7億円以上10億円未満の2店は、北海道どさんこプラザ、銀座わしたショップ。続く5億以上7億未満の4店は、いわて銀河プラザ(岩手県)、表参道新潟館ネスパス(新潟県)、香川・愛媛せとうち旬彩館(香川県・愛媛県)かごしま遊楽館(鹿児島県)でした。

図8 平成25年度売上 (単位:店) N=52

年間売上	店数	割合
3千万円未満	11	21.2%
3千万円以上5千万円未満	3	5.8%
5千万円以上1億円未満	5	9.6%
1億円以上3億円未満	15	28.8%
3億円以上5億円未満	6	11.5%
5億円以上7億円未満	5	9.6%
7億円以上10億円未満	2	3.8%
不明	5	9.6%
合計	52	100.0%

② 4年間の年間売上の比較 1億円以上が、71.9%

売り上げの比較をするために、平成22~25年度の調査を提出した32店を対象に比較を行ないました。(図9参照)。平成25年度の結果を見ると、1億円以上の売り上げは、23店あり、全体の71.9%を占めています。

図9 年間売上額別比較（単位：店）

N=32

年度間売上	H25年度		H24年度		H23年度		H22年度	
	店舗数 (A)	%	店舗数 (B)	%	店舗数 (C)	%	店舗数 (D)	%
3千万円未満	4	12.5%	2	6.3%	2	6.3%	4	12.5%
3万円以上5千万未満	1	3.1%	3	9.4%	3	9.4%	2	6.3%
5千万円以上1億円未満	4	12.5%	3	9.4%	3	9.4%	5	15.6%
1億円以上3億円未満	11	34.4%	12	37.5%	12	37.5%	9	28.1%
3億円以上5億円未満	6	18.8%	6	18.8%	6	18.8%	6	18.8%
5億円以上7億円未満	4	12.5%	4	12.5%	4	12.5%	4	12.5%
7億円以上10億円未満	2	6.3%	2	6.3%	2	6.3%	2	6.3%
合計	32	100.0%	32	100.0%	32	100.0%	32	100.0%

5. 設立の目的は「特産品のPR」がトップ

設立の目的は、「特産品のPR」「自治体のPR」「観光案内・誘客」「地域情報発信」「特産品の販路拡大」の順に高く、40ショップ以上が目的にあげています（図10）。

図10 設立の目的（単位：店、重複回答）

N=52

開設目的	店数	割合	開設目的	店数	割合
自治体のPR	45	86.5%	地域間交流	9	17.3%
特産品のPR	52	100.0%	地域情報発信(マスコミ等)	43	82.7%
特産品の販路拡大	42	80.8%	田舎暮らし・UJIターン	10	19.2%
市場調査・消費者ニーズ	26	50.0%	企業誘致	2	3.8%
観光案内・誘客	44	84.6%	地元住民の意欲拡大	5	9.6%
地元出身者との交流	8	15.4%	その他	2	3.8%

6. 運営の効果

運営の効果では、「特産品の知名度アップ」「自治体の知名度アップ」「地域情報発信」「特産品の販路拡大」の順で上位に来ています。（図11）

図11 運営の効果（単位：店、重複回答）

運営効果	店数	割合	運営効果	店数	割合
自治体の知名度アップ	44	84.6%	地域間交流	10	19.2%
特産品の知名度アップ	50	96.2%	地域情報発信(マスコミ等)	41	78.8%
特産品の販路拡大	40	76.9%	田舎暮らし・UJIターン	7	13.5%
消費者ニーズの把握	32	61.5%	企業誘致促進	1	1.9%
観光客の増加	28	53.8%	地元住民の意欲増大	6	11.5%
地元出身者との交流促進	13	25.0%	その他		

7. 事業内容は、物産販売がトップ、約50%が飲食施設を設置

事業内容は、物産販売は、52店のうち51店（98.1%）で行っています。また、飲食施設を設けている店は、25店（48.1%）と約半数でした。（図12参照）本格的なレストランから、スイーツ（アイスクリーム、ドーナツ等）や地酒や軽食（コロッケ、さつま揚げ等）など地方の食を気軽に味わえるイートインまで多様化してきています。

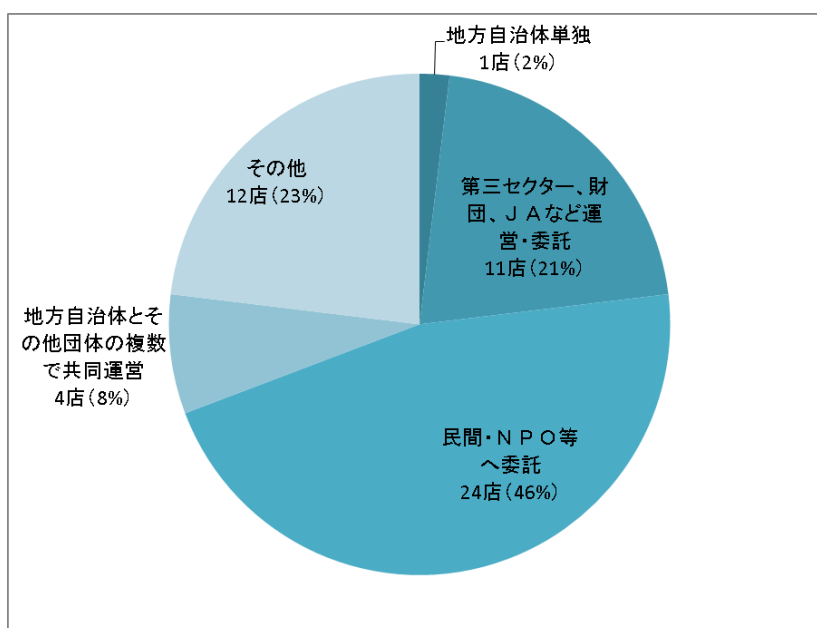
図12 事業内容 （単位：店）重複回答あり N=52

事業内容	店数	割合
物産販売	51	98.1%
飲食施設	25	48.1%
相談業務	9	17.3%
観光案内	42	80.8%
イベント開催	38	73.1%
展示	25	48.1%
その他	1	1.9%

8. 運営主体

運営主体は、民間・NPO等への委託24店（46%）、第三セクター、財団、JAなどの運営・委託11店（21%）、地方自治体とその他団体の複数で共同運営4店（8%）順に多く、地方自治体単独は1店（2%）と少ない。その他の回答は、12店（23%）あった。運営は、民間企業等が持つノウハウ、スキルを活かして、魅力的な店舗づくりに取り組む団体が約半数（46%）となっています。（図13参照）。

図13 運営主体 N=52



9. ネットの活用、外国人来訪者への接遇、クレジットカードの導入

今後、集客や売上と伸ばすためには、情報発信、接遇、買い物の利便性などの改善が重要です。今回の調査では、経年調査のほかに新たな項目として「ネットを活用した情報発信」、「外国人来訪者への接遇」、「カードの利用」を特別に調査しました。

① インターネットの活用

ホームページ（80.8%）とフェイスブック（48.1%）が多く導入されていました。（図14参照）。

図14 インターネットの活用（単位：店）

インターネットの活用	店数	割合
ホームページ	42	80.8%
ブログ	10	19.2%
ツイッター	11	21.2%
フェイスブック	25	48.1%
ネットショップ	16	30.8%
メルマガ	17	32.7%

② 「外国人訪問者への接遇」の整備は、今後の課題

「語学ができるスタッフが常駐」（11.5%）が最も多く、他の項目では1割未満で、整備が遅れています（図15参照）。

図15 外国人への接遇（単位：店） N=52

外国人への接遇	店数	割合
外国語の案内パンフレット	2	3.8%
ホームページの多言語化	5	9.6%
レストランメニューの多言語対応	3	5.8%
語学ができるスタッフ常駐	6	11.5%

地域活性化センターでは、外国人への情報発信を目的に、現在、都内アンテナショップと共同で英文パンフレットを作成しています。印刷媒体だけではなく、スマートフォン等でも情報を得られるような工夫を行っています。

③ クレジットカードの導入

「アンテナショップで買い物の際、カードで支払えないため購入できなかった。」という声をよく耳にします。今回は、クレジットカードがアンテナショップにどの程度導入されているか、調査をしました。約40店（76.9%）が導入していました。（図16参照）。

図16 クレジットカードの導入

クレジットカードの利用	店数	割合
利用可能	40	76.9%
利用できない	9	17.3%
導入検討中	0	0.0%
未回答	3	5.8%

N=52

自治体アンテナショップ 都内・全国分布図

図 1 7 都内分布図

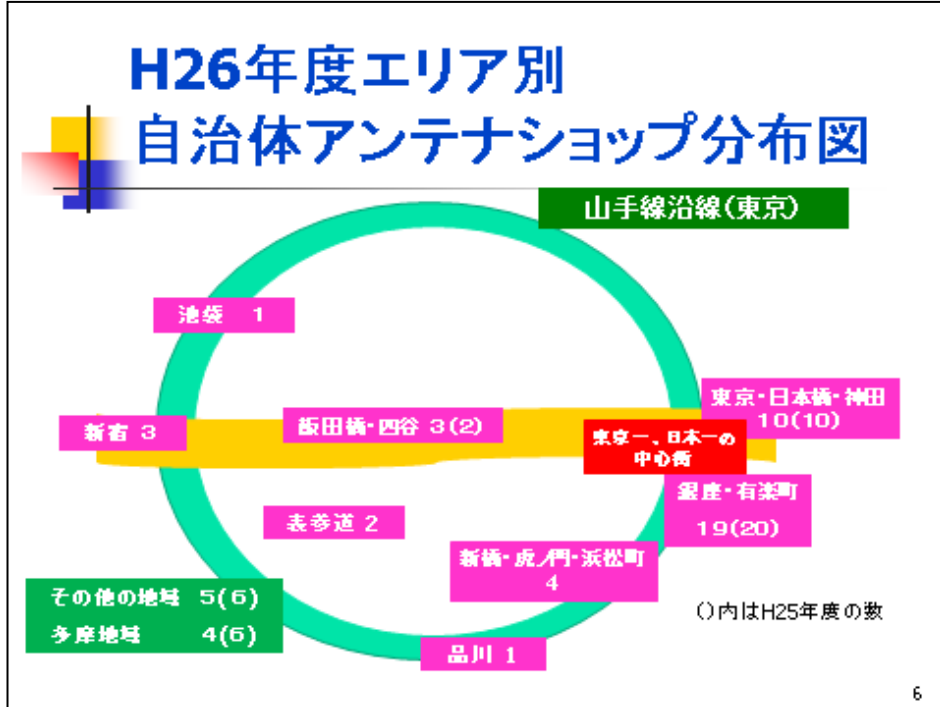
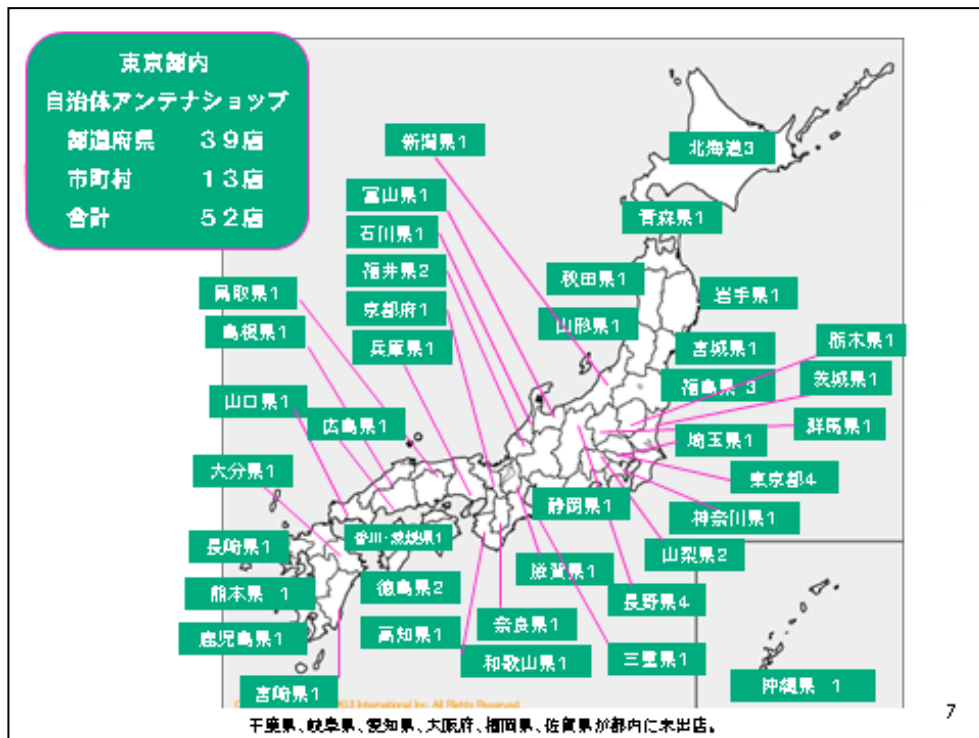


図 1 8 全国分布図



平成26年度 自治体アンテナショップ実態調査結果

ショップ数 52店(54店) 都道府県39店(38店) 市町村13店(16店) ()内は平成25年度の数

設立年	店数
1991	2
1992	
1993	1
1994	1
1995	1
1996	
1997	1
1998	1
1999	1
2000	
2001	2
2002	5
2003	3
2004	1
2005	2
2006	4
2007	
2008	5
2009	4
2010	5
2011	3
2012	4
2013	6
合計	52

運営主体	店数
地方自治体単独	1
第三セクター、財団、JAなど運営・委託	11
民間・NPO等へ委託	24
地方自治体とその他団体の複数で共同運営	4
その他	12
合計	52

年間入館者数	店数
10万人未満	19
10万人以上20万人未満	8
20万人以上50万人未満	10
50万人以上70万人未満	7
70万人以上100万人未満	0
100万人以上	4
不明	4
合計	52

スタッフ数	店数
10人未満	24
10人以上20人未満	12
20人以上30人未満	7
30人以上	6
不明	3
合計	52

面積	店数
100㎡未満	21
100㎡以上200㎡未満	10
200㎡以上300㎡未満	4
300㎡以上400㎡未満	8
400㎡以上500㎡未満	4
500㎡以上	5
合計	52

年間売上	店数
3千万円未満	11
3千万円以上5千万円未満	3
5千万円以上1億円未満	5
1億円以上3億円未満	15
3億円以上5億円未満	6
5億円以上7億円未満	5
7億円以上10億円未満	2
不明	5
合計	52

事業内容	店数
物産販売	51
飲食施設	25
相談業務	9
観光案内	42
イベント開催	38
展示	25
その他	1
(重複回答) N=52	

外国人への接遇	店数
外国語の案内パンフレット	2
ホームページの多言語化	5
レストランメニューの多言語対応	3
語学ができるスタッフ常駐	6
(重複回答) N=52	

開設目的	店数
自治体のPR	45
特産品のPR	52
特産品の販路拡大	42
市場調査・消費者ニーズ	26
観光案内・誘客	44
地元出身者との交流	8
地域間交流	9
地域情報発信(マスコミ等)	43
田舎暮らし・UJターン	10
企業誘致	2
地元住民の意欲拡大	5
その他	2
(重複回答) N=52	

運営効果	店数
自治体の知名度アップ	44
特産品の知名度アップ	50
特産品の販路拡大	40
消費者ニーズの把握	32
観光客の増加	28
地元出身者との交流促進	13
地域間交流	10
地域情報発信(マスコミ等)	41
田舎暮らし・UJターン	7
企業誘致促進	1
地元住民の意欲増大	6
その他	0
(重複回答) N=52	

インターネットの活用	店数
ホームページ	42
ブログ	10
ツイッター	11
フェイスブック	25
ネットショップ	16
メルマガ	17
(重複回答) N=52	

クレジットカードの利用	店数
利用可能	40
利用できない	9
導入検討中	0
未回答	3
N=52	

【自治体アンテナショップ実態調査対象】

調査は、都道府県通じて行い、各アンテナショップ担当課から回答を得た。

- 1) 自治体が主体となって設立した施設。(運営は民間セクターでも可)
- 2) 常設施設であること。短期間(1年以内)で終了する営業は含まない。
- 3) 観光案内所・事務所機能のみの施設は含まない。
- 4) 東京都内にあるアンテナショップ。
- 5) 道の駅、直売所は含まない。
- 6) 平成26年4月1日現在の状況。
- 7) 一般財団法人 地域活性化センター 調査

平成26年度 都内調査対象ショップ一覧

NO	自治体名	自治体名	ショップ名	所在地	設立年
1	北海道	北海道	北海道どさんこプラザ有楽町店	千代田区有楽町2-10-1	1999
2	北海道	函館市	函館市アンテナショップ 「函館もってきました。」	中央区京橋2-4-12	2011
3	北海道	美瑛町	北海道美瑛町アンテナショップ 丘のまち美瑛	千代田区有楽町2-10-1	2013
4	青森県	青森県	あおもり北彩館 東京店	千代田区富士見2-3-11	2002
5	岩手県	岩手県	いわて銀河プラザ	中央区銀座5-15-1	1998
6	宮城県	宮城県	宮城ふるさとプラザ	豊島区池袋1-2-2	2005
7	秋田県	秋田県	あきた美彩館	港区高輪4-10-8	2008
8	山形県	山形県	山形県アンテナショップ おいしい山形プラザ	中央区銀座1-5-10	2009
9	福島県	福島県	福島県八重洲観光交流館	中央区八重洲2-6-21	2009
10	福島県	会津若松地方 広域市町村圏 整備組合	会津ふるさと居酒屋よつてがんしょ	中央区銀座6-4-18	2012
11	福島県	湯川村	湯川村・会津坂下町アンテナショップ	葛飾区東金町1-18-10	2014
12	茨城県	茨城県	茨城マルシェ	中央区銀座1-2-1	2012
13	栃木県	栃木県	とちまるショップ	墨田区押上1-1-2	2012
14	群馬県	群馬県	ぐんま総合情報センター	中央区銀座5-13-19	2008
15	埼玉県	埼玉県	埼玉アンテナショップ	新宿区西新宿1-13-12	2009
16	東京都	東京都	TOKYO地域特産品売店	新宿区西新宿2-8-1	1991
17	東京都	東京都	東京愛らんど	港区海岸1-12-2	1992
18	東京都	葛飾区	かつまるショップ	葛飾区柴又4-9-5	2010
19	東京都	武蔵野市	アンテナショップ 麦わら帽子	武蔵野市吉祥寺本町2-33-1	2001
20	神奈川県	三浦市	なごみま鮮果	千代田区鍛冶町2-5-11	2006
21	新潟県	新潟県	表参道・新潟館ネスパス	東京都渋谷区神宮前4-11-7	2006
22	富山県	富山県	いきいき富山館	千代田区有楽町2-10-1	2002
23	石川県	石川県	有楽町石川県観光物産PRセンター 加賀・ 能登・金沢 江戸本店	千代田区有楽町1-5-2	2005
24	福井県	福井県	ふくい南青山291	港区南青山5-4-41	2002
25	福井県	福井県	食の國 福井館	中央区銀座1-3-3	2013
26	山梨県	山梨県	レストランY-wine(わいわい)	中央区日本橋2-3-4	2010
27	山梨県	山梨県	富士の国やまなし館	中央区日本橋2-3-4	2004
28	長野県	大田市	信濃大町アルプスプラザ(立川市・大田市観 光情報プラザ)	立川市柴崎町3-14-3	2010
29	長野県	塩尻市	塩尻醸造所(仮)	渋谷区富ヶ谷1-45-13	2012
30	長野県	富士見町	多摩市&長野県富士見町共同アンテナ ショップPonte	多摩市永山1-4	2010
31	長野県	木島平村	調布&木島平 食の駅 新鮮屋	調布市小島町1-34-11	2003
32	静岡県	静岡県	静岡県産品アンテナコーナー「おいしず」	千代田区神田練堀町8-2	2013
33	三重県	三重県	三重テラス	中央区日本橋室町2-4-1	2013
34	滋賀県	滋賀県	滋賀県東京観光物産情報センター「ゆめぶ らぎ滋賀」	千代田区有楽町2-10-1	2001
35		京都市	京都館	中央区八重洲2-1-1	2006
36	兵庫県	豊岡市	「コウノトリの恵み」	千代田区有楽町2-10-1	2011
37	奈良県	奈良県	奈良まほろば館	中央区日本橋室町1-1-6-2	2009
38	和歌山県	和歌山県	わかやま紀州館	千代田区有楽町2-10-1	2004
39	鳥取県	鳥取県	食のみやこ鳥取プラザ	港区新橋2-19-4	2008
40	島根県	島根県	にほんばし島根館	中央区日本橋室町1-5-3	2003
41	広島県	広島県	広島ブランドショップTAU	中央区銀座1-6-1	2012
42	山口県	山口県	おいでませ山口館	中央区日本橋2-3-4	2002
43	徳島県	徳島県	徳島アンテナショップローソン虎ノ門巴町店 内(愛称:なっ!とくしま)	港区虎ノ門3-11-15	2009
44	徳島県	徳島県	徳島アンテナショップローソン飯田橋三丁目 店内(愛称:なっ!とくしま)	千代田区飯田橋3-6-5	2009
45	香川県	香川県	香川・愛媛せとうち旬彩館	港区新橋2-19-10	2003
46	高知県	高知県	まるごと高知	中央区銀座1-3-13	2010
47	長崎県	長崎県	長崎よかもんショップ・四谷	新宿区四谷1-10-2	2014
48	熊本県	熊本県	銀座熊本館	中央区銀座5-3-16	1994
49	大分県	大分県	大分県フラッグショップ坐来大分	中央区銀座2-2-2	2006
50	宮崎県	宮崎県	新宿みやざき館KONNE	渋谷区代々木2-2-1	1998
51	鹿児島県	鹿児島県	かごしま遊楽館	千代田区有楽町1-6-4	1995
52	沖縄県	沖縄県	銀座わしたショップ	中央区銀座1-3-9	1994

新規調査 1 「東京以外の自治体アンテナショップ」について

当センターでは、この度、初めて東京以外にある自治体アンテナショップの調査を行いました。その結果、次のとおりです。

【調査方法】 調査は、都道府県を通じて以下の内容で行いました。

- ⑧ 自治体が主体となって設立した施設。（運営は民間企業等でも可）
- ⑨ 常設施設であること。短期間（1年以内）で終了する営業は含まない。
- ⑩ 観光案内所・事務所機能のみの施設は含まない。
- ⑪ 東京都外にあるアンテナショップ。
- ⑫ 道の駅、直売所は含まない。
- ⑬ 平成26年4月1日の状況
- ⑭ 調査内容は、所在地、設立年、設立目的など21項目。

今回の調査では、46店（都道府県21店、市町村25店）の報告がありました。

※会津若松地方広域市町村圏整備組合は市町村に分類しました。

1 東京以外の自治体アンテナショップの出店経緯

東京以外の地域では、古くからある大阪や名古屋事務所の一部に物産販売コーナーを設け、アンテナショップの機能を設置するケースがありました。H6年頃には、全国に多店舗展開を行っていた「わたしたちのショップ」（沖縄県）が出てきましたが、本格的な出店は、H22年頃からで、毎年約5店が出店しています。平成25年には11店の出店し急激に増加しています。（詳細は、図19参照）

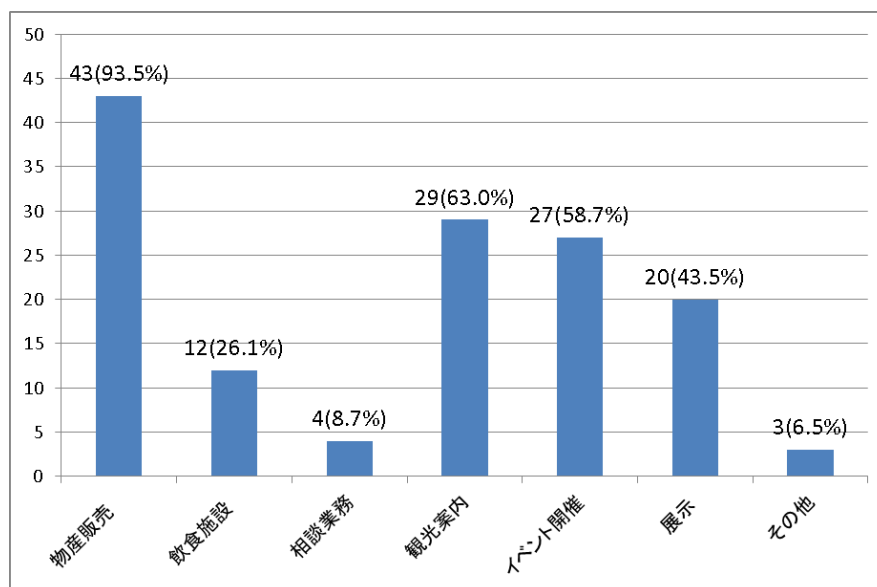
図19 東京以外の自治体の出店経緯 N=46

設立年	出店数	設立年	出店数	設立年	出店数
S53年(1978)	1	H14年(2002)	2	H21年(2009)	1
H6年(1994)	1	15(2003)	1	22(2010)	5
8(1996)	1	16(2004)	2	23(2011)	5
9(1997)	1	17(2005)	2	24(2012)	6
10(1998)	1	18(2006)	1	25(2013)	11
11(1999)	2	19(2007)	1	合計	46
12(2000)	1	20(2008)	1		

2 事業内容

事業内容は、物産販売が最も多く43店で行われており、全体の93.5%を占めています。続いて観光案内は29店（63.0%）、イベント開催は27店（58.7%）で実施しています。

図20 事業内容 N=46 単位：店



3 東京都外のアンテナショップの出店先と出店団体の一覧

図21のとおり、大阪府内への出店が9点と最も多く、続いて福岡県内への出店が7店あります。また、県内の他地域への出店だけではなく、東北3県（青森県、岩手県、秋田県）が大阪市、福岡市の出店、茨城県下妻市が千葉県浦安市に出店、島根県飯南町が広島県三次市に出店するなど県境を越えた出店もあります。

(図21) 平成26年度 都外調査対象ショップ一覧

NO	店舗所在地		ショップ名	出団体	設立年
1	北海道(3店)	札幌市	北海道どさんこプラザ札幌店	北海道	2006
2		札幌市	札幌わしたショップ	沖縄県	1999
3		釧路市	マルシェくしろ	北海道釧路市	2013
4	福島県(1店)	会津若松市	あいづふるさとアンテナショップ駅カフェ	会津若松地方 広域市町村圏整備組合	2002
5	埼玉県(2店)	三郷市	ららほっとみさと	埼玉県三郷市	2009
6		越谷市	わしたショップ イオンレイクタウンkaze	沖縄県	2011
7	千葉県(1店)	浦安市	下妻ファーム	茨城県下妻市	2013
8	神奈川県(5店)	横浜市	物産・観光プラザ「かながわ屋」	神奈川県	2004
9		横浜市	Natural Essay(ナチュラル・エッセイ)	岩手県一戸町	2010
10		横浜市	ローソン横浜住吉町四丁目店	千葉県	2010
11		横浜市	あまくさ宝島市場	熊本県天草市	2011
12		相模原市	さがみはらアンテナショップ sagamix(さがみつくす)	神奈川県相模原市	2013
13	石川県(1店)	小松市	空の駅こまつ	石川県小松市	2013
14	静岡県(1店)	富士宮市	お～それ宮	静岡県富士宮市	2012
15	愛知県(4店)	名古屋市	名古屋わしたショップ	沖縄県	1994
16		名古屋市	名古屋物産センター	徳島県	2005
17		名古屋市	PRODUCT SHOP & 桜通りカフェ	三重県	2011
18		名古屋市	名古屋アンテナショップ(通称:桜通りカフェ)	愛媛県	2012
19	京都府(1店)	京都市	特産品ショップ ホツと丹後	京都府京丹後市	2007
20	大阪府(9店)	大阪市	大阪事務所	宮崎県	1978
21		大阪市	大阪物産センター(とくしま県の店)	徳島県	1997
22		大阪市	愛媛県大阪事務所	愛媛県	2002
23		大阪市	青森・岩手・秋田/きた東北発見プラザjengo(ジェンゴ)	岩手県	2004
24		箕面市	彩菜(さいさい)みまさか箕面店	岡山県美作市	2010
25		大阪市	熊本よかもんSHOP	熊本県	2010
26		泉佐野市	観光交流プラザ「りんくう まち処」	大阪府泉佐野市	2012
27		高槻市	真庭市場(まにわいちば)	岡山県真庭市	2013
28		泉佐野市	観光情報プラザ「関空 まち処」	大阪府泉佐野市	2013
29	兵庫県(3店)	神戸市	北播磨おいしんぼ館	兵庫県	2012
30		神戸市	西播磨ふるさと特産館「好きやde 西播磨」	兵庫県	2013
31		神戸市	多可フレンドショップ	兵庫県多可町	2005
32	奈良県(1店)	奈良市	なら工芸館	奈良県奈良市	2000
33	広島県(1店)	三次市	飯南町交流物産館「あいまるシェ」	島根県飯南町	2013
34	山口県(1店)	宇部市	まちなかまるごとアンテナショップ「うべ元気市場」	山口県宇部市	2013
35	香川県(1店)	高松市	かがわ物産館「栗林庵」	香川県	2013
36	愛媛県(1店)	松山市	えひめ愛顔の観光物産館	愛媛県	2012
37	福岡県(7店)	福岡市	福岡わしたショップ	沖縄県	1996
38		福岡市	北東北三県アンテナショップ みちのく夢プラザ	青森県、岩手県、秋田県	1999
39		福岡市	ひた生活領事館イン福岡	大分県日田市	2008
40		福岡市	長崎・佐世保・雲仙ゆめ市場「キトラス」	長崎県長崎市、 佐世保市、雲仙市	2010
41		柳川市	柳川アンテナショップ おいでメッセ柳川	福岡県柳川市	2011
42		福岡市	鷹ふぐバル松浦	長崎県松浦市	2012
43		福岡市	アンテナショップ 八女本舗	福岡県八女市	2013
44	熊本県(2店)	熊本市	ASOうぶやまのお店	熊本県産山村	2003
45		熊本市	氷川のしずく	熊本県氷川町	2011
46	宮崎県(1店)	宮崎市	みやざき物産館KONNE	宮崎県	1998

新規調査 2 「海外の自治体アンテナショップ」について

今回の調査では、海外にアンテナショップをしている自治体の状況を調査した。その結果、新潟県からロシアへの出店が2店、報告された。(図2.2) そのほか、今回の調査対象ではなかったが、出店支援(北海道/シンガポール「カムイン シンガポール北海道」)、出展料を徴収して出店(大分市/武漢市アンテナショップ)、補助金の給付、期間限定などで出店している自治体もあります。

(図2.2)

基本情報				スタッフ数	床面積	事業内容			
自治体名	ショップ名	国/都市	設立年	10人未満	100㎡未満	物産販売	観光案内	イベント開催	展示
新潟県	おもてなし館	ロシア/ウラジオストク市	2012	●	●	●	●	●	●
新潟県	おもてなし館	ロシア/ハバロフスク市	2013	●	●	●		●	●

なお、詳細リスト等の調査結果は、ホームページの「自治体アンテナショップ支援事業」でもご覧になることができます。URL <http://www.jcrd.jp/>

【問合せ先】 一般財団法人 地域活性化センター 地域づくり情報課 畠田、津隈
電話 03-5202-6139 メール: hatada@jcrd.jp